

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月11日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾雅司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統轄室長 (氏名) 十亀 猛
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6721-6988

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,992	17.6	450	43.6	430	40.6	279	42.4
27年3月期第1四半期	2,544	3.7	314	△1.4	306	2.8	196	14.5

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 287百万円 (17.8%) 27年3月期第1四半期 243百万円 (35.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	23.74	—
27年3月期第1四半期	16.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	15,329	10,872	70.9	923.58
27年3月期	15,037	10,844	72.1	921.18

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 10,872百万円 27年3月期 10,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	22.00	22.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	14.5	1,030	36.4	1,000	36.4	650	40.4	55.21
通期	12,000	7.6	2,050	13.3	2,000	14.5	1,300	27.1	110.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	14,000,000 株	27年3月期	14,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	2,227,635 株	27年3月期	2,227,635 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	11,772,365 株	27年3月期1Q	11,772,479 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想等の将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では企業業績が拡大し持ち直しの傾向にあるものの、中国経済の成長減速やギリシャ債務問題の長期化等、下振れ懸念もあり先行き不透明な状況が続いております。わが国では、輸入コストの上昇や消費税増税後の節約志向などから、個人消費の持ち直しに遅れが見られるものの、円安と原油価格の低位安定を主要因として、輸出関連企業を中心に企業業績や雇用環境が改善するなど、堅調に推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、お客様の信頼と期待を獲得するため、事業部主導経営への転換を図り、社員一人一人が自分の責任を果たし、品質、スピード、実行にこだわり、グローバルな競争の中で、さまざまなお客様の問題を解決し、お客様からありがとうと感謝される体制作りを進めてまいります。

販売面では、当社グループの主な市場である工作機械、産業機械、建設機械市場におきましては、国内需要が堅調に推移しており、前年同期の売上高を上回る結果となりました。また、半導体、液晶製造装置関連市場におきましても設備投資が堅調に推移し、前年同期の売上高を大幅に上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は29億92百万円（前年同期比17.6%増）となり、営業利益は4億50百万円（同43.6%増）、経常利益は4億30百万円（同40.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億79百万円（同42.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

(静岡事業所)

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しており、受注が前年を大幅に上回ったため、売上高は5億34百万円（前年同期比21.3%増）となり、セグメント利益は1億17百万円（同79.9%増）となりました。

(岐阜事業所)

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しており、重点市場である産業機械・工作機械市場向けは、需要が依然好調のため、売上高は11億46百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益は3億97百万円（同5.4%増）となりました。

(山形事業所)

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しており、受注が前年を大幅に上回ったため、売上高は10億17百万円（前年同期比37.9%増）、セグメント利益は3億1百万円（同70.3%増）となりました。

(IPEC岐阜事業所)

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、受注が前年を大幅に上回り、売上高は3億39百万円（前年同期比40.5%増）、セグメント利益は66百万円（同60.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億91百万円増加し、153億29百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1億46百万円、たな卸資産が1億5百万円、繰延税金資産が49百万円増加、有形固定資産が2億47百万円増加した反面、現金及び預金が2億50百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億63百万円増加し、44億56百万円となりました。これは、主に買掛金が1億6百万円、未払金が1億66百万円、賞与引当金が2億2百万円増加したこと、未払法人税等が1億63百万円減少したこと、退職給付に係る負債が52百万円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ28百万円増加し、108億72百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益2億79百万円と配当金支払い2億58百万円により、剰余金が20百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が7百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計会計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,537	3,287
受取手形及び売掛金	3,710	3,857
商品及び製品	330	328
仕掛品	374	405
原材料及び貯蔵品	796	872
繰延税金資産	73	142
その他	152	168
流動資産合計	8,976	9,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,434	1,587
機械装置及び運搬具(純額)	490	556
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	104	126
その他(純額)	42	49
有形固定資産合計	3,493	3,740
無形固定資産		
	104	102
投資その他の資産		
投資有価証券	1,914	1,891
長期貸付金	1	1
関係会社長期貸付金	28	29
生命保険積立金	69	71
繰延税金資産	408	388
その他	41	41
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,463	2,423
固定資産合計	6,061	6,266
資産合計	15,037	15,329

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	533	639
短期借入金	363	367
未払金	275	442
未払法人税等	374	211
賞与引当金	—	202
役員賞与引当金	27	—
その他	216	152
流動負債合計	1,791	2,016
固定負債		
長期借入金	545	625
退職給付に係る負債	1,449	1,396
役員退職慰労引当金	194	204
資産除去債務	54	55
長期預り保証金	157	157
固定負債合計	2,402	2,439
負債合計	4,193	4,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	10,171	10,191
自己株式	△1,674	△1,674
株主資本合計	10,679	10,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	102
為替換算調整勘定	69	69
その他の包括利益累計額合計	164	172
純資産合計	10,844	10,872
負債純資産合計	15,037	15,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,544	2,992
売上原価	1,788	2,082
売上総利益	755	909
販売費及び一般管理費	441	458
営業利益	314	450
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	11
為替差益	—	9
複合金融商品評価益	17	—
その他	6	1
営業外収益合計	26	21
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	1	—
持分法による投資損失	25	29
複合金融商品評価損	—	6
その他	4	3
営業外費用合計	34	42
経常利益	306	430
税金等調整前四半期純利益	306	430
法人税、住民税及び事業税	180	203
法人税等調整額	△70	△52
法人税等合計	109	151
四半期純利益	196	279
親会社株主に帰属する四半期純利益	196	279

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	196	279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	7
持分法適用会社に対する持分相当額	2	0
その他の包括利益合計	47	7
四半期包括利益	243	287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243	287

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜 事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	440	1,067	737	241	2,487	57	2,544
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	0	—	—	0	—	0
計	441	1,067	737	241	2,488	57	2,545
セグメント利益	65	376	177	41	661	18	679

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	661
「その他」の区分の利益	18
セグメント間取引消去	58
全社費用(注)	△418
棚卸資産の調整額	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	314

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜 事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	534	1,127	945	336	2,943	49	2,992
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	19	72	3	95	—	95
計	534	1,146	1,017	339	3,039	49	3,088
セグメント利益	117	397	301	66	883	16	900

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	883
「その他」の区分の利益	16
セグメント間取引消去	△12
全社費用(注)	△433
棚卸資産の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	450

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。